

3M Science.
Applied to Life.™



3M™ フィットテストキット FT-10

あなたのマスク
本当にフィットしていますか？

フィットテストキットは、厚生労働省基発
第0207006号でも推奨されています。

厚生労働省基発第 0207006 号 2 防じんマスクの選択に当たっての留意事項

(4) 防じんマスクの顔面への密着性の確認

(前略) 防じんマスクの面体は、着用者の顔面に合った
形状及び寸法の接顔部を有するものを選択すること(中略)……なお、大気中の粉じん、
塩化ナトリウムエアロゾル、サッカリン エアロゾルを用いて密着性の良否を確認する機器
もあるので、これらを可能な限り利用し良好な密着性を確保すること。
(厚生労働省基発第 0207006 号 平成 17 年 2 月 7 日 第 1 より抜粋)

3M™ フィットテストキット FT-10

どんなに高性能のマスクを選んでもそのマスクが顔に合っていなかったり、正しく装着されていなければ、その効果を発揮できません。3M™ フィットテストキット FT-10 は、安全で確実に密着性の良否が判定できるフィットテストキットです。マスクの選択時や着用訓練時にご活用ください。

1 FT-10 の構成

- A. フード
- B. カラー
- C. No.1 ネブライザー
- D. No.2 ネブライザー
- E. FT-11 感度テスト溶液※
(Sensitivity Test Solution)
- F. FT-12 フィットテスト溶液※
(Fit Test Solution)

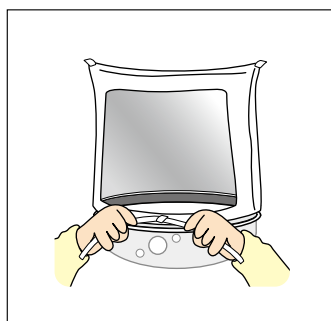


※サッカリン溶液であり、
人体に有害ではありません。

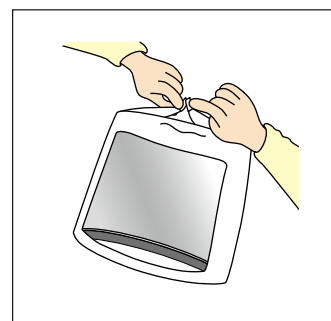
2 準備



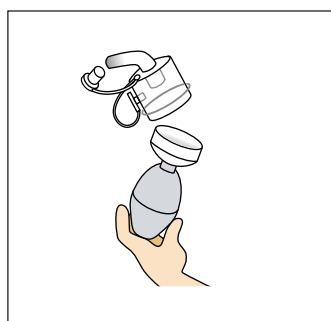
1. フードをカラーに取り付けます。



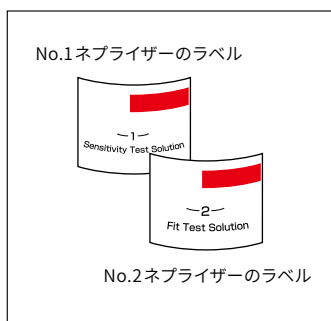
2. ひもを結びます。



3. 頭頂部をクリップ等で留めます。



4. No.1 ネブライザー 及び No.2
ネブライザーのキャップを取り
外します。



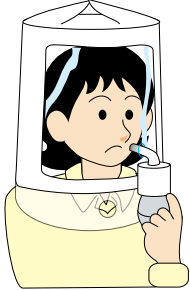
5. 溶液を間違えないように確認
します。



6. No.1ネブライザーはFT-11感度
テスト溶液を、No.2ネブライザー
にFT-12フィットテスト溶液を
ティースプーン1杯程度を注ぎ
ます。

3 感度テスト

被験者が「甘味」を感じるかどうかをテストします。マスクを着用せずにおこないます。
(感度テスト溶液は、フィットテスト溶液を約 100 倍に希釈したものです。)



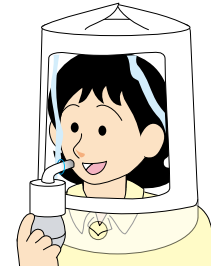
フードをかぶります。
この時マスクは装着しません。

フードの透明窓と顔は、約 15cm 程度離してください。

No.1ネブライザーを透明窓の穴から差し込み、ゴム球を押してエアロゾルを発生させます。この時ネブライザーの角度に注意して、被験者に直接かからないようにし被験者に「口から息を吸い込み、味わうように」と指示してください。ゴム球が完全に戻るように操作してエアロゾルを発生させます。

被験者が甘味を感じたかどうかを5回噴霧するごとに確認してください。「感じた」時には記録用紙にゴム球を押した回数を記録します。甘味を感じない場合には、さらにゴム球を押し「感じた」時点での回数を記録します。ただし、30回を超えた場合には、感度テストを中止して、他の方法を試みてください。

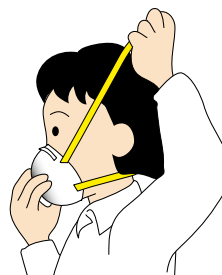
終了したらフードをとり、新鮮な空気で口からの呼吸を2~3分程度おこない口中の甘味を取り去ってください。



4 マスクの装着

マスクを正しい手順で、装着してください。

この 3M™ フィットテストキット FT-10 は、使い捨て式防じんマスク、半面形の取替え式防じんマスクの他、半面形の防じん機能を有する防毒マスクにもご使用いただけます。



5 フィットテストの実施

マスクを装着してテストを実施します。マスクと顔の間から漏れ込みが無く、確実に装着されていれば、甘味成分は口の中に入らないため「甘味」を感じることはありません。もし、「甘味」を感じた時には装着が不完全といえます。



マスクを着用して、フードをかぶります。

フードの透明窓と顔は、約15cm程離し、被験者に「口から息を吸い込み、味わうように」と指示してください。

No.2ネブライザーを透明窓の穴から差し込み、ゴム球を押してエアロゾルを発生させます。この時ネブライザーの角度に注意して、被験者に直接かからないようにしてください。ゴム球は感度テストと同じ方法で感度テストと同じ回数だけ押して、エアロゾルを発生させます。

フード内の濃度を一定に保つため、次に示す各動作後に追加の噴霧を行います。

次の動作を60秒ずつ行います。

- A 普通に呼吸をする。
- B 深呼吸をする。(5秒に1回程度)
- C 普通の呼吸を続けながら、顔を左右にゆっくり振る。
- D 普通の呼吸を続けながら、顔を上下にゆっくり振る。
- E 正面を向いて「雨にも負けず」などをゆっくり大きな声で読み上げる
- F 前屈(ゆっくりと深くおじぎ)をする。
- G 普通に呼吸をする。

上述のA~Gの動作中に甘味を感じた場合には、フィットが適切ではありません。テストを終了して、約15分後に感度テストから再開してください。

最後まで甘味を感じなければ、マスクの装着が適切におこなわれ、確実にフィットしている状態と言えます。



○ 「甘味」を感じない!

- 正しくフィットし、漏れ込みの心配もありません。
- この感覚を忘れずに、いつも正しく装着してください。



× 「甘い」と感じる。

- マスクのサイズや形状は顔に合っていますか?
- 正しく装着していますか? 約15分後に、感度テストから再開してください。

6 テスト終了後

ネブライザーに残った液は廃棄してください。

サッカリンは凝固しやすいのでテスト終了後には、直ちにネブライザーを分解し、温水で洗浄してください。

※ FT-12 フィットテスト溶液の安全データシート (SDS) はこちらのインターネットを使用した SDS 検索を通じてご提供しております。
(http://www.3mcompany.jp/3M/ja_JP/company-jp/SDS-search/)

3Mは3M社の商標です。

3M


スリーエム ジャパン株式会社
安全衛生製品事業部
<http://www.mmm.co.jp/ohesd>

Please Recycle. Printed in Japan.
©3M 2017. All Rights Reserved.

OHS-1065-A(0417)

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで

 **0570-011-321**

8:45~17:15 / 月~金 (土日祝年末年始は除く)
全国どこからでも市内料金でご利用いただけます